

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

## 安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。  
 なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

<b>警告</b>	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
<b>注意</b>	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- してはいけない
- 必ず守る

## ■施工上のご注意


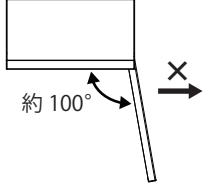



<b>警告</b>	
 <small>アースせよ</small>	接地端子を利用して、アース接続を確実に行ってください。感電の原因になります。
	十分な強度のある壁面に確実に固定してください。落下・けが・故障の原因になります。
	キャビネットを加工して吊り上げなどを行う場合は、集中的な荷重が加わらないように十分な補強を施してください。変形・破損・落下の原因になります。
	電気工事(取付・施工)は有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。
	電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守してください。故障・感電・けがの原因になります。

<b>注意</b>							
	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。へこみや歪みが発生し、強度の低下の原因になります。						
	10m/s以上の強風時に施工作業をしないでください。強風により扉が脱落するおそれがあります。						
	密閉孔栓(付属品)を取り付けた状態で、運送および底面を下にした状態で引きずることをしないでください。密閉孔栓(付属品)が破損するおそれがあります。						
	使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下・導通が得られないなどの原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。						
	設置を行う際は、2人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。						
	密閉孔栓(付属品)は必ず取り付けてください。雨水が浸入するおそれがあります。(浸入した水が抜けることはありませんので、万が一水が浸入した際は、密閉孔栓を取り外し排水を行ってください。)						
	穴加工した部分は突起やバリをヤスリなどで確実に除去し、タッチアップペイント(弊社型番: BP81)などで補正を行ってください。錆が発生するおそれがあります。また、穴加工した場合に取り付けるパーツはIP性能に合致したものを使用し、保護等級に応じた処置を行ってください。IP性能の保持ができなくなるおそれがあります。						
	シリンダーを施錠し、ハンドルキャップを必ず取り付けてください。雨水が浸入し、錆が発生するおそれがあります。						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">ねじの呼び</th> <th style="text-align: center;">適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>±3点セムス六角アースボルト M8×12</td> <td style="text-align: center;">5.5 ~ 7.0*</td> </tr> <tr> <td>フランジナット M8</td> <td style="text-align: center;">7.8 ~ 13.7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※ドライバー以外の工具で締め付けるねじは 8.0 ~ 13.0N・m</p>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	±3点セムス六角アースボルト M8×12	5.5 ~ 7.0*	フランジナット M8	7.8 ~ 13.7
ねじの呼び	適正締付トルク N・m						
±3点セムス六角アースボルト M8×12	5.5 ~ 7.0*						
フランジナット M8	7.8 ~ 13.7						

## ■使用上のご注意

<b>警告</b>	
	長期間の使用で取付部(ねじ、ナット)などの傷みやゆるみがないか、定期的に点検してください。傷みがある場合は交換し、ゆるみがある場合は適正締付トルクにて増し締めをしてください。破損・落下・所定のIP性能が得られないなどの原因になります。

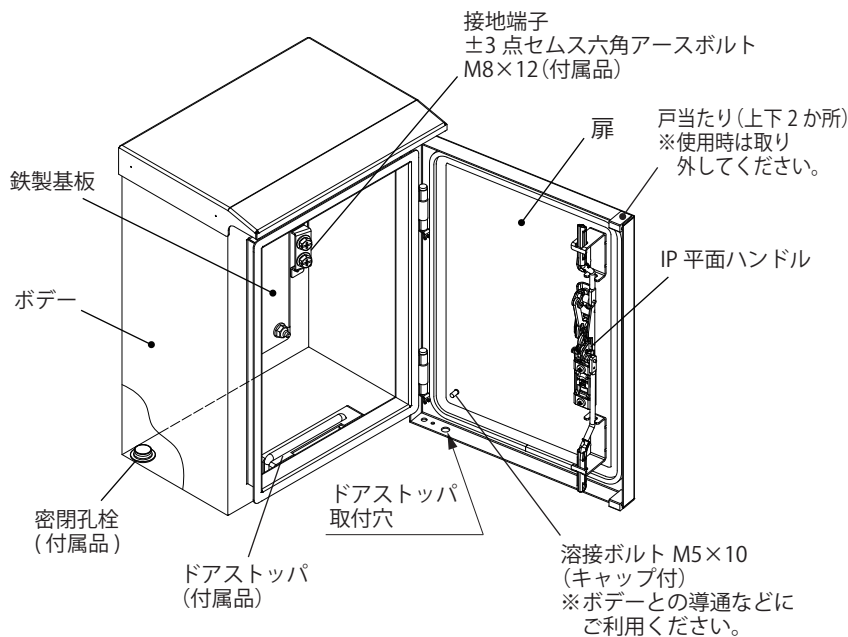
## ⚠ 注意

 指に注意	<p>扉を勢いよく閉めないでください。指を挟みけがの原因になります。</p>		<p>扉の開閉角度は(約 100°)です。扉を開けた状態で右図の矢印方向にさらに荷重を掛けしないでください。蝶番部、ドアストッパ部および扉の変形・破損の原因になります。</p> 
	<p>次のような場所では使用しないでください。故障・けがの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高温、高温となる場所</li> <li>・腐食性ガスのある場所</li> <li>・振動、衝撃のある場所</li> <li>・可燃性ガスのある場所</li> <li>・粉塵やオイルミストが多い場所</li> <li>・ノイズ(電界、磁界)の強い場所</li> <li>・導電性粉塵(カーボン繊維、金属粉など)のある場所</li> <li>・有機溶剤のかかる場所</li> </ul>		<p>設置後の扉開放時には必ずボデー下に設置されているドアストッパ(付属品)を扉に掛けて固定してください。扉が閉まり、けがの原因になります。</p>
	<p>ハンドルのシリンダーにキーを挿した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けしないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p>		<p>ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、シリンダーに定期的に鍵潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。</p>
	<p>シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p>		<p>塩害地域などの特殊環境の場所で使用する場合は、定期的にメンテナンスを行ってください。腐食により落下・けが・故障の原因になります。</p>

### 鉄製基盤の汚れやケガキ線拭き取りのご注意

- ・汚れやケガキ線を拭き取る際は、やわらかい布で軽く拭いてください。
- ・汚れやケガキ線を拭き取る際は、目立たない場所で塗装面が傷まないことを確認してください。
- ・アルコールやベンジンなどの溶剤をご使用になると、塗装面が傷むおそれがあります。

## ■各部の名称・仕様



塗装色	ライトベージュ塗装 (5Y7/1)
材質	ステンレス
取付基板	鉄製基板 2.3mm
キャビネット板厚	扉 1.5mm ボデー 1.5mm
ハンドル	IP 平面ハンドル
扉形式	片扉

### ●付属品

名称	数量
ドアストッパ	1コ
密閉孔栓	1コ
±3 点セム六角アースボルト M8×12	2コ
キー(キー No.N200)	1コ
取扱説明書(本紙)	1部

## ■使用方法

### ●扉の開閉方法

#### 【開け方】

1. ハンドルキャップ(カバー)を上へ 10mm程度押し上げた後、手前に引いて開けてください。(図 1)

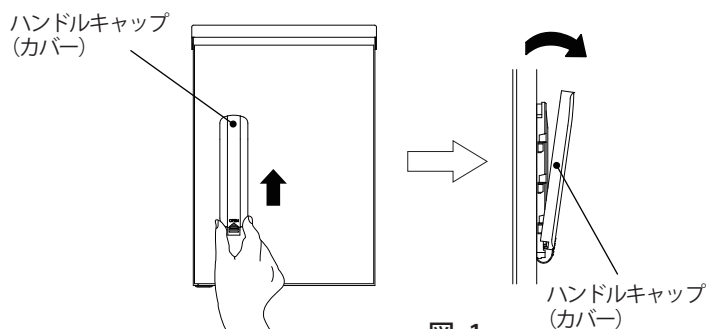


図 1

2. ハンドルのシリンダーを解錠してください。(本頁「●ハンドルの施錠・解錠方法」を参照)
3. 取手を手前に引き上げてください。(図2)
4. 扉を手で押さえ、もう一方の手で取手を握り親指を支点に引き上げて手前に引いてください。(図3)

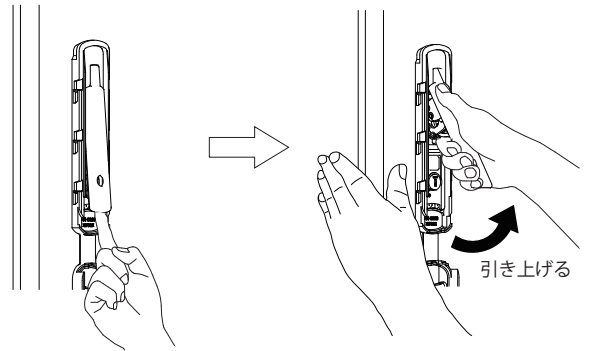
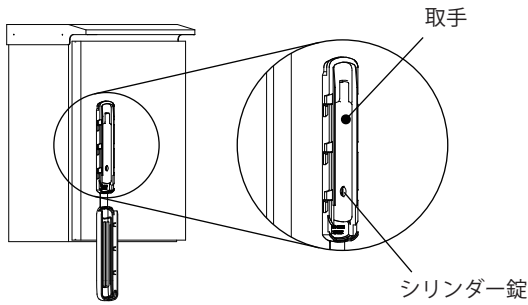


図 2

図 3

**【閉め方】**

1. 扉を手で押さえ、もう一方の手で取手を手のひら全体で本体側に押ししてください。(図4)
2. ハンドルのシリンダーを施錠してください。(本頁「●ハンドルの施錠・解錠方法」を参照)
3. ハンドルキャップを開けた時と逆の手順で閉めてください。(図5)

**【ご注意】**

- ・本体と取手の間に指を挟まないように注意してください。
- ・ハンドルキャップが浮くことなく、閉まっていることを確認してください。

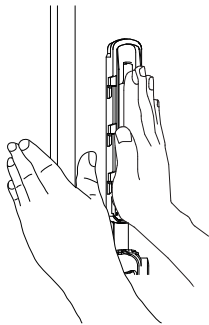


図 4

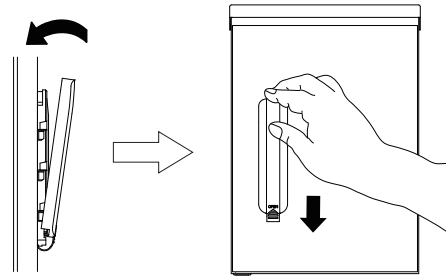


図 5

**●ハンドルの施錠・解錠方法**

**【施錠】**

施錠は扉を閉めた状態でシリンダーにキーを挿し、右へ90°回してください。(図6)

**【ご注意】**

キーには挿入向きがありますので、鍵山を下にした状態で挿入してください。(図7)

**【施錠】**

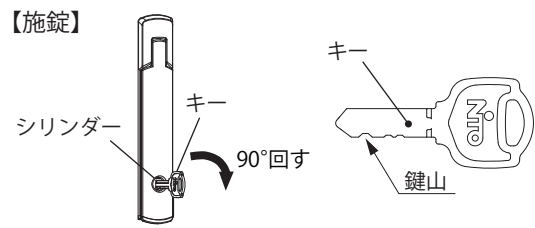


図 6

図 7

**【解錠】**

解錠は施錠状態でシリンダーにキーを挿し、左へ90°回してください。(図8)

**【ご注意】**

鍵山を左にした状態で挿入してください。

**【解錠】**

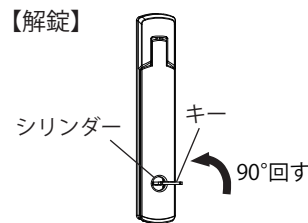


図 8

**●ドアストッパの使用法**

設置後の扉開放時は、扉の固定にドアストッパ(付属品)をご利用ください。ドアストッパ収納金具からドアストッパ(付属品)を外し、取付穴に挿し込んでください。

**【ご注意】**

- ・取付穴に挿しこむ際は、奥まで挿し込んでください。(図9)
- ・内部機器などの組み込み時に、扉面を上にした状態でドアストッパ(付属品)を使用しないでください。ドアストッパ(付属品)が取付穴から外れ、扉が閉まりけがの原因になります。

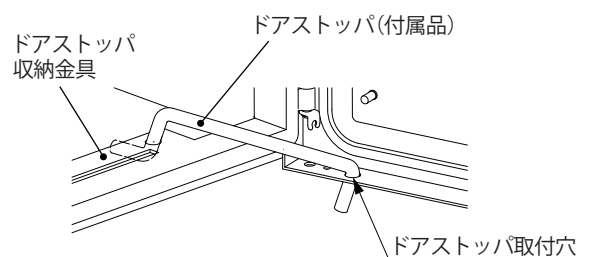


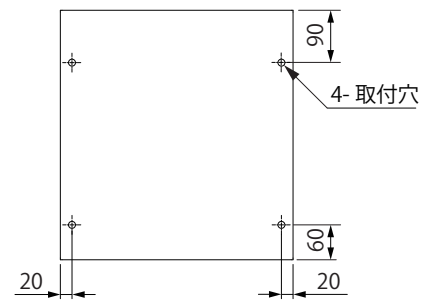
図 9

## ■取付方法

(単位：mm)

- ・キャビネットを設置する際は、ボデー背面に穴加工した後に取り付けてください。
- ・ポールなど十分な強度を有する場所に取り付けて下さい。
- ・本製品の装柱には、盤用パーツ「ポール用金具 PM」の使用を推奨いたします。  
取付方法や取付穴径については、「ポール用金具 PM」の取扱説明書(別紙)を参照してください。

**ご注意** 金具の周囲およびボルト・ナットの固定部と取付穴のシーリング処理を推奨いたします。雨水が浸入するおそれがあります。



取付穴加工推奨位置

### ⚠注意



穴加工した部分は突起やバリをヤスリなどで確実に除去し、タッチアップペイント(弊社型番:BP81)などで補正を行ってください。錆が発生するおそれがあります。また、穴加工した場合に取り付けるパーツはIP性能に合致したものを使用し、保護等級に応じた処置を行ってください。IP性能の保持ができなくなるおそれがあります。

## ■基板取付方法

### ●鉄製基板の取付方法

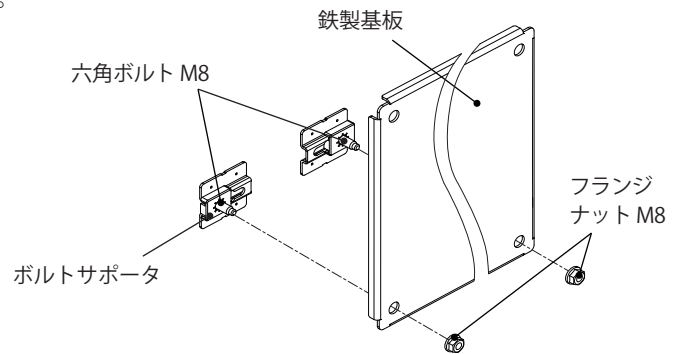
鉄製基板を取り外し、再度取り付ける際には下記のように取り付けてください。  
鉄製基板をセットし、フランジナット M8 で固定してください。

### ⚠注意



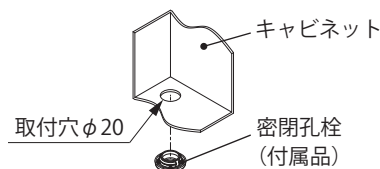
使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下・導通が得られないなどの原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
フランジナット M8	7.8 ~ 13.7



## ■密閉孔栓の取付方法

キャビネット外面より、確実に押し込んでください。  
取り外しは、キャビネット内面より押し出して外します。



### ⚠注意



密閉孔栓(付属品)を取り付けた状態で、運送および底面を下にした状態で引きずることをしないでください。密閉孔栓(付属品)が破損するおそれがあります。



密閉孔栓(付属品)は必ず取り付けてください。(浸入した水が抜けることはありません。)

## ■機器取付用二次加工スペースについて

- ・天井部への穴加工はできません。
- ・機器取付スペースについては、納入仕様書を参照してください。

施工業者名	
TEL	
施工年月日	年 月 日

### お問い合わせ先

ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。

**TEL (0561) 64-0152**

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。  
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2020年12月  
B821634921

**NITTO KOGYO**

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社  
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地